

厚生労働科学研究費補助金（政策科学推進研究事業）
分担研究報告書

ポストコロナ時代における人口動態と社会変化の見通しに資する研究
「外国人受入れ拡大の公的年金財政影響シミュレーション
及び出生順位別配偶関係多相生命表モデルに関する基礎研究」

研究分担者 石井 太 慶應義塾大学

研究要旨

わが国ではこれまで、外国人人口受入れに関しては比較的保守的な政策を採ってきたことから、これらの問題の解決策としての外国人人口受入れに関する本格的な定量分析が十分に行われてきたとは言い難い状況にある。本研究は、先行研究ではこれまで行われていない、直近の令和 6 年財政検証をベースとした外国人受入れシミュレーションに関する基礎的な研究を行う。また、配偶関係別多相生命表に出生順位を組み合わせた出生順位別配偶関係多相生命表モデルの開発に関する基礎的な研究を行う。

外国人労働者受入れに関する公的年金への財政影響は、本研究で考察を行ったような様々な影響を織り込んだ長期的な評価を行うことが具体的な施策の議論にとって極めて重要である。詳しくは別添の論文（論文タイトル：外国人受入れ拡大の公的年金財政影響シミュレーションに関する基礎研究）を参照されたい。また、出生順位別配偶関係多相生命表の開発については今後も検討を続けることが必要である。

A. 研究目的

①年金財政シミュレーション

わが国は現在、先進諸国の中でも極めて低い出生水準となっており、また、このような低水準 出生率の継続が見込まれることから、今後、恒常的な人口減少過程を経験するものと見られている。さらにこれに加え、平均寿命は国際的にトップクラスの水準を保ちつつ、なお延伸が継続しており、少子化と長寿化が相俟って、他の先進諸国でも類を見ないほど急速に人口の高齢化が進行するものと見られている。

わが国ではこれまで、外国人人口受入れに関しては比較的保守的な政策を採ってきたことから、これら少子・高齢化がもたらす問題の解決策としての外国人人口受入れ

に関する本格的な定量分析が十分に行われてきたとは言い難い状況にある。このような中、筆者らは外国人受入れが年金財政に与える影響に関するシミュレーションを研究してきたが、本研究は、先行研究ではこれまで行われていない、直近の令和 6 年財政検証をベースとした外国人受入れシミュレーションに関する基礎的な研究を行うことを目的とする。

②出生順位別配偶関係多相生命表

筆者らは、配偶関係別多相生命表に関する研究を行ってきたが、この多相生命表には出生順位は考慮されていない。そこで、配偶関係別多相生命表に出生順位を組み合わせた出生順位別配偶関係多相生命表モデルの開発に関する基礎的な研究を行う

ことを目的として研究を行う。

B. 研究方法

①年金財政シミュレーション

本研究で評価を行うシステムは、将来の人口シミュレーションを行う「人口ブロック」と、年金制度（厚生年金・国民年金）への評価を行う「年金ブロック」から構成される。人口ブロックでは、外国人受入れに関するシナリオ設定とともに、外国人人口の長期シミュレーションを実行する。年金ブロックでは、人口ブロックで推計された人口に基づき給付費推計を行い、全体の収支計算を実行する。

②出生順位配偶関係多相生命表

「日本の将来推計人口（令和 5 年推計）」では、出生順位別に年齢別出生率が推計されている。本研究では、この出生順位別年齢別出生率を用いて、出生順位別遷移確率の推計を行うための試算等を実行する。

C. 研究成果

①年金財政シミュレーション

本研究において基本ケースとした令和 6 年財政検証の過去 30 年投影ケースにおいては、厚生年金の標準的な所得代替率は最終的に 50.4%となる。その内訳は比例 24.9%、基礎 25.5%であり、マクロ経済スライドによる給付水準調整の終了年度は、比例 2026 年度に対し、基礎 2057 年度となっている。一方、政策的労働者受入のみを前提とするケース A では代替率は 53.6%と基本ケースに対して 3.2%ポイント上昇するのに対し、配偶者の帯同や第二世代以降の誕生を前提とするケース B では 56.0%と 5.6%ポイントもの上昇となった。

②出生順位配偶関係多相生命表

出生順位別年齢別出生率を用いて、これと整合するような多重脱退生命表の作成について、初婚からの出生期間について幾つか

の仮定を設定しながら試算を行った。

D. 結果の考察

①年金財政シミュレーション

所得代替率上昇の内訳を見てみると、ケース A では報酬比例部分で 0.1%ポイント、基礎年金部分で 3.1%ポイント、ケース B では報酬比例部分で 0.1%ポイント、基礎年金部分で 5.5%ポイントであり、基礎年金部分の上昇によるところが大きく基礎年金水準低下問題に対応する効果が強いことがわかった。

②出生順位配偶関係多相生命表

多重脱退生命表については、初婚からの出生期間の仮定によって、出生順位別年齢別出生率と必ずしも整合的でない結果が得られる場合もあり、さらなる検討の必要性が明らかとなった。

E. 結論

①年金財政シミュレーション

外国人労働者受入れに関する公的年金への財政影響は、本研究で考察を行ったような様々な影響を織り込んだ長期的な評価を行うことが具体的な施策の議論にとって極めて重要である。

②出生順位配偶関係多相生命表

出生順位別年齢別出生率と整合的な出生順位配偶関係多相生命表の開発については、今後も試算を行いつつ検討を続けることが必要であると考えられる。

G. 研究発表

1. 論文発表
なし
2. 学会発表
なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし